

## 第44回(2019年度)地域安全学会研究発表会(春季)に参加しました(2019/5/24-25)

テーマ：災害科学、実践的防災学  
場所：木曽町文化交流センター（長野県木曽町）

5月24日(金)及び25日(土)に、木曽町文化交流センターにおいて、地域安全学会の春季研究発表会が開催されました。24日には、まず、一般論文発表会において、当研究所教員が執筆者の5件の論文発表があり、うち、佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）、杉安和也助教（国際共同大学院）が登壇しました。各発表者の講演題目等は次の通りです。

### 【一般論文】

- 佐藤翔輔：  
東日本大震災の被災地における語り部・被災地ガイドの実態把握の試み
- 寅屋敷哲也、杉安和也、花田悠磨、佐藤翔輔、村尾修：  
東日本大震災における南三陸町職員初動対応の検証研究 その1  
-震災から2カ月間の対応における教訓の分析-
- 杉安和也、寅屋敷哲也、花田悠磨、佐藤翔輔、村尾修：  
東日本大震災における南三陸町職員初動対応の検証研究 その2  
-津波到達までの災害初動対応業務および避難行動の分析
- 花田悠磨、村尾修、杉安和也、寅屋敷哲也、佐藤翔輔：  
東日本大震災における南三陸町職員初動対応の検証研究 その3  
-災害対策本部および仮設庁舎のレイアウトに関する分析-
- 新家杏奈、佐藤翔輔、今村文彦：  
東日本大震災時に発信された災害情報内容の推移とその受容に関する分析

※下線は、当研究所メンバー

翌26日には、公開シンポジウム「御嶽山噴火災害から5年 火山との共生と木曽地域の振興」ののちに、現地見学会を行いました。なお、地域安全学会では2019年8月2日・3日に東日本大震災連続ワークショップ in 南相馬の開催を企画しており、災害科学国際研究所は同企画を共同開催する予定です。



佐藤翔輔准教授



杉安助教



会場の様子

文責：杉安和也（国際共同大学院）